

アーカイブズの構造認識と編成記述◆目次

序 論——本書刊行のねらい……………大友一雄 3

第一編 アーカイブズの編成記述——理論と動向

アーカイブズ機関における編成記述の動向と課題……………太田富康 15

——都道府県文書館の目録と検索システムの状況から——

アーカイブズの内的秩序構成理論と構造分析の課題……………柴田知彰 43

アーカイブズ編成・記述の原則再考……………森本祥子 71

——シリーズ・システムの理解から——

第二編 アーカイブズの構造認識と編成記述論

日本近世・近代在地記録史料群の階層構造分析方法について……………渡辺浩一 99

商家文書の史料群構造分析——松代八田家文書を事例に——……………西村慎太郎 121

名主家文書における文書認識と目録編成……………	工藤航平	149
——分散管理と情報共有の視点から——		
近現代個人文書の特性と編成記述——可変的なシリーズ設定のあり方——	加藤聖文	181
組織体の機能構造とアーカイブズ編成——大学アーカイブズを中心に——	清水善仁	201
<b>第三編 近世の記録管理とアーカイブズ</b>		
転封にみる領知支配と記録……………	大友一雄	229
——編成記述のための歴史的アプローチの可能性——		
近世の商家と記録管理……………	西向宏介	259
萩藩士家における「御判物・御証文」の保存と管理……………	山崎一郎	291
近世石清水八幡宮の神人文書と文書認識……………	東昇	319
——分散管理と情報共有の視点から——		
近世アーカイブズの紙質調査と組織体の料紙……………	青木睦	345

あとがき  
執筆者紹介